

## 2 学習指導部

### (1) 基礎学力をつけるための取組

(計算タイムの様子)



#### のびっ子タイム (計算)

##### 1 ねらい

計算の基礎的・基本的な技能の定着を図る。

##### 2 具体的な取組

1年生 2学期から25マスに取り組む。

2年生 25マス (児童の実態を見ながら49マス、81マスにしていく。)

3年生 81マス

4～6年生 100マスを一定時間で行う。(5～7分間)

(時間内に終わらない児童には、100マス中、何マスできたかを記録し、速く計算することを目標にできるようにする。配慮を要する児童には49マス、25マスに取り組ませてもよい。)

#### 《取り組み方》

- ・ 8時30分から各クラスで10分間取り組む。
- ・ 始める前に、自分の目標タイムを書く。
- ・ テレビに映ったタイマーで、自分が問題を解き終わったタイムを記録する。
- ・ 学年で統一して同じ問題 (マスの数字の並び順が同じ) に取り組み、タイムが短縮できることを実感させる。
- ・ 「+」「-」「×」のうち1回に1種類を行う。学年の児童の実態に合わせて、取り組む計算を決める。
- ・ 本人のベストタイムがでたら、記録を記入する欄に担当がシールを貼るかハンコを押す。
- ・ 計算は、原則、1段ずつ飛ばさずに横に進む。(飛び飛びに計算しない。)
- ・ 計算したプリントは、色画用紙に糊付けしてファイリングする。
- ・ 教室にマス計算の用紙を置いておき、自由に練習に取り組めるようにする。

#### 【タイムスケジュール】

マス計算の紙配付、自分の目標タイムの記入

8:30 計算スタート (テレビに時間が表示される。)

↓

8:35 計算終了

(しばらくは8:37まで7分間タイマーを映し、学年の実態に合わせて終了タイムを決め、終了タイムになったら、テレビを消す。)

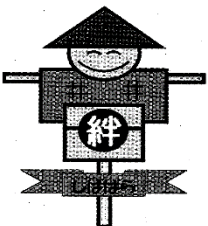
8:35～8:37 答え合わせ

(となりの人とプリントを交換、代表児童が横に答えをどんどん読み上げる。)

8:37～8:40

- ・ 間違いを直し、間違えた計算はプリントの裏に原則3回書く。  
(たとえば $3 \times 7$ を間違えたら、裏に $3 \times 7 = 21$ 、 $3 \times 7 = 21$ 、 $3 \times 7 = 21$ と書く。)
- ・ マス計算の紙は、色画用紙のファイルに貼る。
- ・ ファイルの裏表紙に、自分のタイムと間違えた数を記録する。

(ファイル 表)

**のびっ子タイム**  
 (計算)  
  
 年 組 名前

(ファイル 裏)

計算 タイム記録表  
 年 組 名前 \_\_\_\_\_  
 たし算 + ひき算 - かけ算 ×

月日	タイム	ストップ	月日	タイム	ストップ	月日	タイム	ストップ
	分 秒 間			分 秒 間			分 秒 間	
	分 秒 間			分 秒 間			分 秒 間	
	分 秒 間			分 秒 間			分 秒 間	
	分 秒 間			分 秒 間			分 秒 間	
	分 秒 間			分 秒 間			分 秒 間	
	分 秒 間			分 秒 間			分 秒 間	
	分 秒 間			分 秒 間			分 秒 間	
	分 秒 間			分 秒 間			分 秒 間	
	分 秒 間			分 秒 間			分 秒 間	
	分 秒 間			分 秒 間			分 秒 間	
	分 秒 間			分 秒 間			分 秒 間	
	分 秒 間			分 秒 間			分 秒 間	
	分 秒 間			分 秒 間			分 秒 間	
	分 秒 間			分 秒 間			分 秒 間	
	分 秒 間			分 秒 間			分 秒 間	
	分 秒 間			分 秒 間			分 秒 間	
	分 秒 間			分 秒 間			分 秒 間	
	分 秒 間			分 秒 間			分 秒 間	
	分 秒 間			分 秒 間			分 秒 間	
	分 秒 間			分 秒 間			分 秒 間	
	分 秒 間			分 秒 間			分 秒 間	
	分 秒 間			分 秒 間			分 秒 間	

(マス計算用紙)

25 マス計算・かけ算 日付( 月 日) 目標時間( )分( )秒  
名前( )

×	3	5	8	2	4
7					
4					
5					
9					
3					

記録( )分( )秒

49 マス計算・かけ算 日付( 月 日) 目標時間( )分( )秒  
名前( )

×	3	5	8	2	4	9	6
7							
4							
5							
9							
3							
2							
8							

記録( )分( )秒

100 マス計算・たし算 日付( 月 日) 目標時間( )分( )秒  
名前( )

+	3	5	1	9	8	0	2	6	4	7
4										
7										
9										
5										
0										
2										
8										
6										
3										
1										

記録( )分( )秒

100 マス計算・かけ算 日付( 月 日) 目標時間( )分( )秒  
名前( )

×	1	5	8	2	4	9	6	0	3	7
7										
0										
5										
9										
3										
1										
8										
4										
2										
6										

記録( )分( )秒

## のびっ子タイム（基礎学力）

### 1 ねらい

算数の既習事項における基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る。

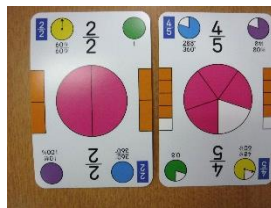
### 2 具体的な取組

- ・ 8時30分から各クラスで10分間取り組む。（内容は学年で統一する。）
- ・ 週1回、さいたま市教育委員会から出されている基礎学力定着プログラムを印刷して行う。前学年のものでもよい。全員にホップの問題を取り組ませ、答え合わせ、解説を時間内に行う。担任は、主にホップの問題ができない児童を支援する。ステップ・ジャンプの問題は、取り組める児童が自分でプリントを持って行って取り組む。答えは、裏に印刷する等して、自分で家庭学習に取り組んでもよいこととする。
- ・ 週2～3回は、計算ドリル、算数教科書の補充問題、発展問題などから課題を出して行う。教師は個別に支援が必要な児童の指導をしたり、発展問題のヒントを出したりする。
- ・ ジャマイカは、4年生以上のクラスに各1個配付し、活用する。  
（使い方・・・白の数を全部使い、四則計算をして、黒の数の和にする。）  
例  $(4+2) \times (3 \div 3 + 5) = \boxed{30+6}$
- ・ 分数トランプは、2年生以上のクラスに配付し、活用する。（同じ大きさの分数を合わせてばぬき）

（ジャマイカ）



（分数トランプ）



## ノート指導

全校で「ノートの使い方」の指導を統一するために、低学年用、中学年用、高学年用のノートマニュアルを作った。これを使うことで、学習の力をより定着させられると考えている。(p.40～p.41)

ノートのつかいかた

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	+	-
②												
①												

たし算のしかたを考えよう。 あたらしいべんぎょうのところにいれたら書く。

① みかさんは、25円のカメラと14円のあめをかいます。だいい金はいくらになりますか。 わかれはるこ → 書きのれはるこ → 赤

しき  $25 + 14 = 39$   
 こたえ 39円 こたえの下に線をひく。

②  $25 + 14$  のりいさんのしかたを考えよう。

①  $20 + 10 = 30$   
 $5 + 4 = 9$   
 $30 + 9 = 39$  じふんの考えをいろいろなほうほうで書いてみよう。

低学年用

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	+	-
②												
①												

② まどめは目立つように赤でかむ。

①  $51 + 23 = 74$   
 $74 + 79 = 153$  まろがえた5 こたえ取りかき赤で書きなす。

②  $73 + 12 = 85$   
 $85 + 75 = 160$  もんだいもまろがえた5書きなす。

③  $75 + 14 = 89$

④ かんせうには、わかれたこと「大じなこ」を書く。

<ノートの使い方>

わり算を考えよう 新しい単元のところに入ったら、ページの上に単元名を書き、えんぴつで囲む。

日記やページ問題の書き方

原字として、1マスに文字を書く。

7/1 問 P.65 ゼリーが14個あります。1人に3個ずつ分ける。何人に分けられますか。

① ① ① 問題のわかってることを青線もとめることに赤線を引く。

(式)  $14 \div 3 = 4$  あまり 2 文字はえんぴつ 答えの下は線を引く

答え 4人に分けられて、2個あまる。

② ②  $14 \div 3$  の計算のしかたを考えよう 課題は、目立つように赤で囲む。

見当 4人に分けると... 学習中に覚えたことを思い出して書いてみる。 わり算のしるべきは「あまり」か。

見通し・図

① ① ① 自分の考えをいろいろな方法で書く。

② ② ②

③ ③ ③ 友達の考えを青鉛筆で書く。 友達のよい考え方を書き写す。

友 松花さん

友 芝原さん

④ ④ ④ まとめは、目立つように赤で囲む。

まとめは、目立つように赤で囲む。

P.66 ①  $26 \div 4 = 6$  あまり 2 検算

②  $56 \div 7 = 8$  問答は、消しゴムで消さない。正しく計算できるまで、何度でも赤でとき直しをする。そして、鬼ツキをする。

$56 \div 7 = 8$

算数ノートの使い方

新しい単元のところに入ったら、ページの上に単元名を書き、えんぴつで囲む。

小数のかけ算を考えよう

日記やページ問題の書き方

原字として、1マスに文字を書く。

4/1 問 P.31 1mのねだんが80円のリボンを2.3m買いました。代金はいくらか。

① ① 問題のわかってることを青線もとめることに赤線を引く。

(式)  $80 \times 2.3 = 184$  答えの下に線を引く

答え 184円

② ②  $80 \times 2.3$  の計算のしかたを考えよう。

見当  $80 \times 2 = 160$  課題は、目立つように赤で囲む。

見通し・図

① ① ① 自分の考えをいろいろな方法で書く。

② ② ②

③ ③ ③ 友達の考えを青鉛筆で書く。 友達のよい考え方を書き写す。

友 芝原さん

友 松花さん

④ ④ ④ まとめは、目立つように赤で囲む。

まとめは、目立つように赤で囲む。

P.35 ①  $2.35 \times 5.6$  問題と問題の間は、1マス 1行あける。

②  $3.6 \times 9.5$  三二定数を、使って線を引く。

③  $3.6 \times 9.5$  間ちがいは、消しゴムで消さない。正しく計算できるまで、何度でも赤でとき直しをする。そして青で丸つけをする。

④  $3.6 \times 9.5$

ポイント